

令和 6 年度事業計画

(2024 年 4 月 1 日－2025 年 3 月 31 日)

I. 定期学術集会・総会の開催

第 71 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会 期 : 令和 6 年 5 月 29 日 (水) ～31 日 (金)

会 場 : みやこめっせ・ロームシアター京都

会 長 : 浅野雅秀 (京都大学)

参加者 : 約 1,000 名を予定

II. 通常総会、理事会、理事評議員懇談会の開催

通常総会 (1 回)、理事会 (4 回)、理事評議員懇談会 (1 回) を開催する。

III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」は下記のとおり発行 (電子配信) する。

発行年月日	巻	号
2024 年 4 月 1 日	73	2
2024 年 7 月 1 日	73	3
2024 年 8 月 1 日	73	Supplement (Proceedings of the 71 JALAS Conference)
2024 年 10 月 1 日	73	4
2025 年 1 月 1 日	74	1

IV. 研究の奨励、業績の表彰をする。

(1) 令和 6 年度学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞 (2 名)

落合敏秋 会員

山田靖子 会員

2) 安東・田嶋賞 (1 名)

真下知士 会員 (東京大学)

「実験動物学におけるゲノム編集および新しいモデル動物の開発研究」

3) 奨励賞 (1 名)

渡邊正輝 会員 (北里大学)

「アドリアマイシン腎症モデル及び TRECK 法を用いたポドサイト障害モデルの開発」

4) 2023 年 Experimental Animals 最優秀論文賞 (3 編)

○藤井 颯、中田雄太、加藤容子

Rescue of oocytes recovered from postmortem mouse ovaries

「死亡マウスから回収した卵子の生存性向上に関する検討」

- 森 政之、代 健、宮原大貴、李 瑩、亢 暁静、吉見一人、真下知士、樋口京一、松本清司

Cyba and *Nox2* mutant rats show different incidences of eosinophilia in the genetic background- and sex-dependent manner

「*Cyba* と *Nox2* 変異ラットは遺伝的背景および性別に依存した異なる好酸球増多症の発症率を示す」

- 何 裕遥、伊藤亮治、野津量子、富山香代、植野昌未、小倉智幸、高橋利一

Establishment of a human microbiome- and immune system-reconstituted dual-humanized mouse model

「ヒト微生物叢と免疫系を再構築したデュアルヒト化マウスモデルの確立」

- (2) 2023 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

2023 年受賞者 (5 名)

マレーシア : Ms. Siti Nor Hikmah Abdul Rasid

フィリピン : Mr. Joannes Luke Bognot Asis

シンガポール : Dr. Yuek Ling Chai

スリランカ : Dr. Arachchillage Anusha Indukumari Senevirathne Menike

タイ : Dr. Nisachon Apinda

- (3) 第 71 回日本実験動物学会総会・優秀発表賞の選考及び表彰を行う。

- (4) 令和 7 年度の功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。

- (5) 2024 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

- (6) 2024 年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

- (7) 第 74 回日本実験動物学会総会大会長を選出する。

V. 委員会等の活動

下記の委員会を設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 国際交流委員会
- e. 広報・情報公開検討委員会
- f. 動物福祉・倫理委員会
- g. 定款・細則・規定等検討委員会
- h. 実験動物感染症対策委員会
- i. 教育研修委員会
- j. 実験動物管理者研修制度委員会
- k. 外部検証委員会
- l. 人材育成委員会
- m. 将来検討委員会
- n. 動愛法等対策委員会

VI. 動物実験に関する外部検証

「動物実験に関する外部検証事業」を外部検証プログラムに沿って実施する。

VII. 外部検証のための人材育成

文部科学省のナショナルバイオリソースプロジェクト「外部検証推進のための人材の育成と活用」課題を推進する。

VIII. 関連学協会等との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力する。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力する。
- (3) 国際実験動物科学会議 (ICLAS) 及びアジア実験動物学会連合 (AFLAS) における活動を継続するとともに、AAALAC International の理事会メンバーに加入する。
- (4) 韓国実験動物学会 (KALAS) など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターや日本動物実験代替法評価センター (JaCVAM) の活動に協力する。

IX. その他

- (1) 第 71 回日本実験動物学会総会期間中に学会及び委員会主催のシンポジウムおよびセミナー等を開催する (学術集会委員会、実験動物感染症対策委員会、動物福祉・倫理委員会、教育研修委員会)。また、関連学協会との円卓会議を実施する。
- (2) 令和 6 年度維持会員懇談会を開催する (財務特別委員会)。
- (3) 第 12 回実験動物科学シンポジウムを開催する (学術集会委員会)。
- (4) 実験動物管理者等研修会を開催する (実験動物管理者研修制度委員会)。
- (5) 外部検証専門員講習会を開催する (人材育成委員会)。
- (6) 動物実験の外部検証実施準備に向けた説明会を開催する (人材育成委員会)。
- (7) 動物実験や動物福祉・倫理を啓発するポスターを作成・配布する (動物福祉・倫理委員会)。

以上